

令和8年6月市議会 総務委員会資料

所管事項調査に関する資料

目次	ページ
1 福田合同庁舎（福田地域センター・福田地区ふれあいセンター） の移転について	2～8
2 野母崎地域センターの移転について	9～17

中央総合事務所
南総合事務所

令和8年6月

I 福田合同庁舎（福田地域センター・福田地区ふれあいセンター） の移転について

（I）現施設の経過

- ア 昭和45年（1970年）建築
- イ 平成22年（2010年）に福田合同庁舎の2/3が土砂災害特別警戒区域の指定
- ウ 平成27年（2015年）に福田合同庁舎から福田小学校へ避難所を変更
- エ 公共施設マネジメント地区計画において、福田合同庁舎については、移転（建替え）を2029年までに検討すると策定。
- オ 令和8年（2026年）6月より小浦町のフレスポ福田west内にある賃貸物件に移転することを前提に地域説明

（庁舎敷地図）



（庁舎全景）



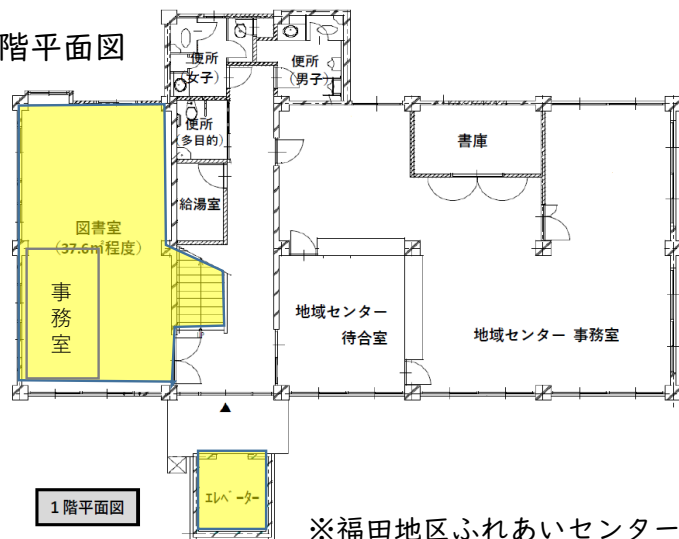
(2) 現施設の概要

所在地	長崎市福田本町10番地
構造	鉄筋コンクリート造
建築年月日	1970 (S45) 年7月30日
敷地面積	690.20㎡
建築面積	277.09㎡
延床面積	537.08㎡ (177.96㎡ 福田地域センター) (359.12㎡ 福田地区ふれあいセンター)
階別用途	1F 福田地域センター、トイレ (男・女・車イス)、福田地区ふれあいセンター事務室、図書室 2F 集会室、調理室、トイレ (男・女)
その他	1. 国道202号に面している 2. 建物の約2/3が土砂災害特別警戒区域内にある 3. 最寄りのバス停 (福田本町) から直線距離109m 4. 駐車場8台 (うち身体障害者用1台) 5. 地域センター内相談スペースに段差あり

(3) 現施設の平面図

黄色着色部は福田地区ふれあいセンター部分

1階平面図

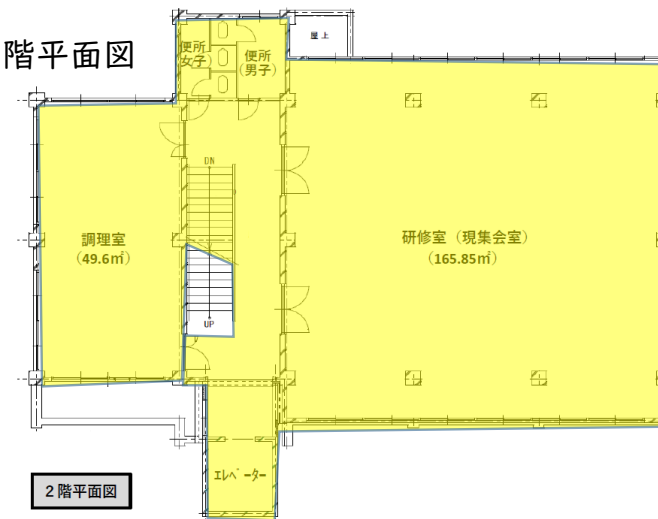


1階平面図

※福田地区ふれあいセンター
事務室面積含む

1階部分		面積 (㎡)
地域センター 福田地区 ふれあいセンター	事務室	127.60
	廊下・ホール	26.81
	給湯室	4.56
	多目的トイレ	3.80
	男女トイレ	15.19
ふれあい センター	図書室	※49.60
	エレベーター	6.24

2階平面図

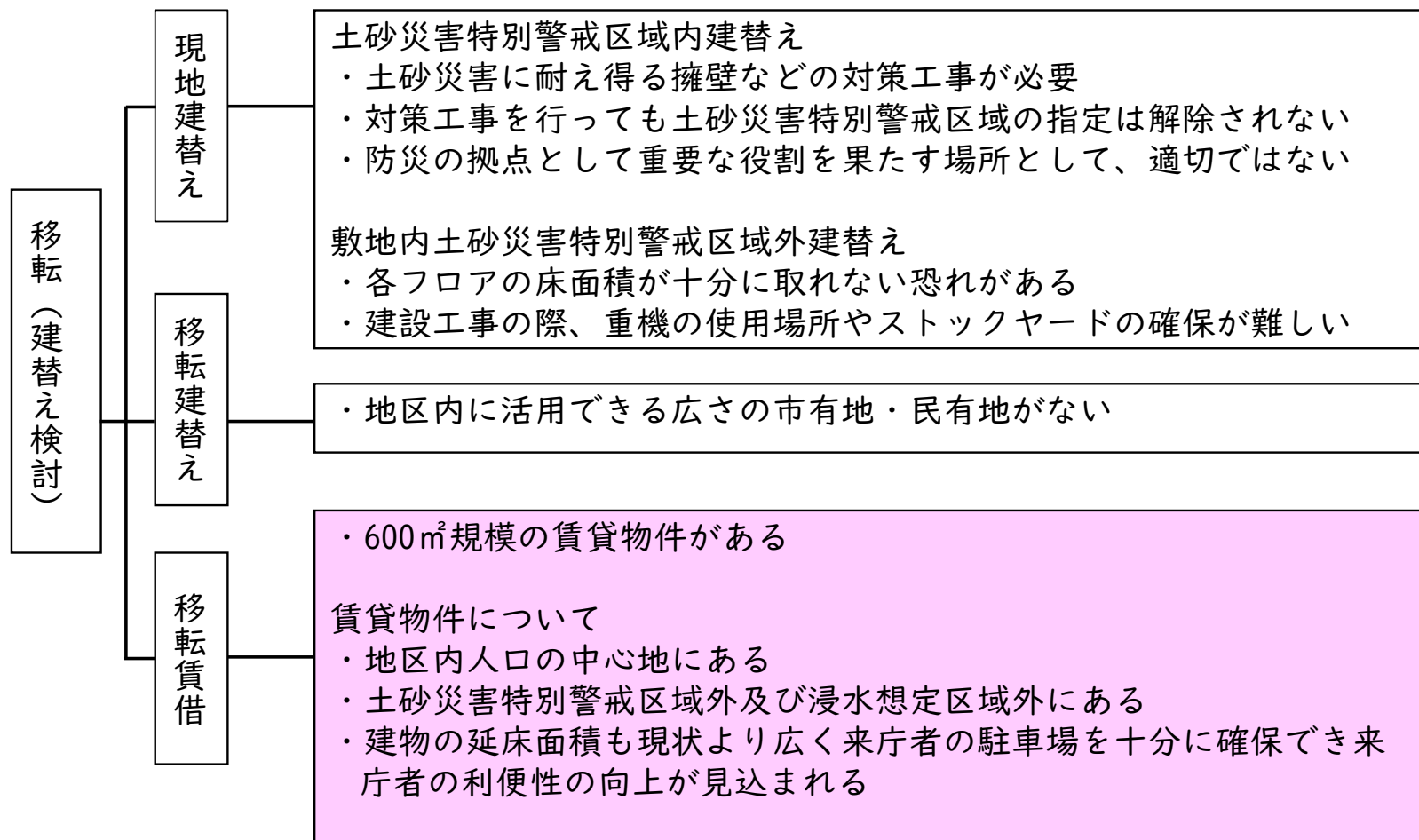


2階平面図

福田地区ふれあいセンター

2階部分		面積 (㎡)
ふれあい センター	階段室、廊下	65.60
	調理室	49.60
	集会室	165.85
	男女トイレ	10.95
	エレベーター	11.28

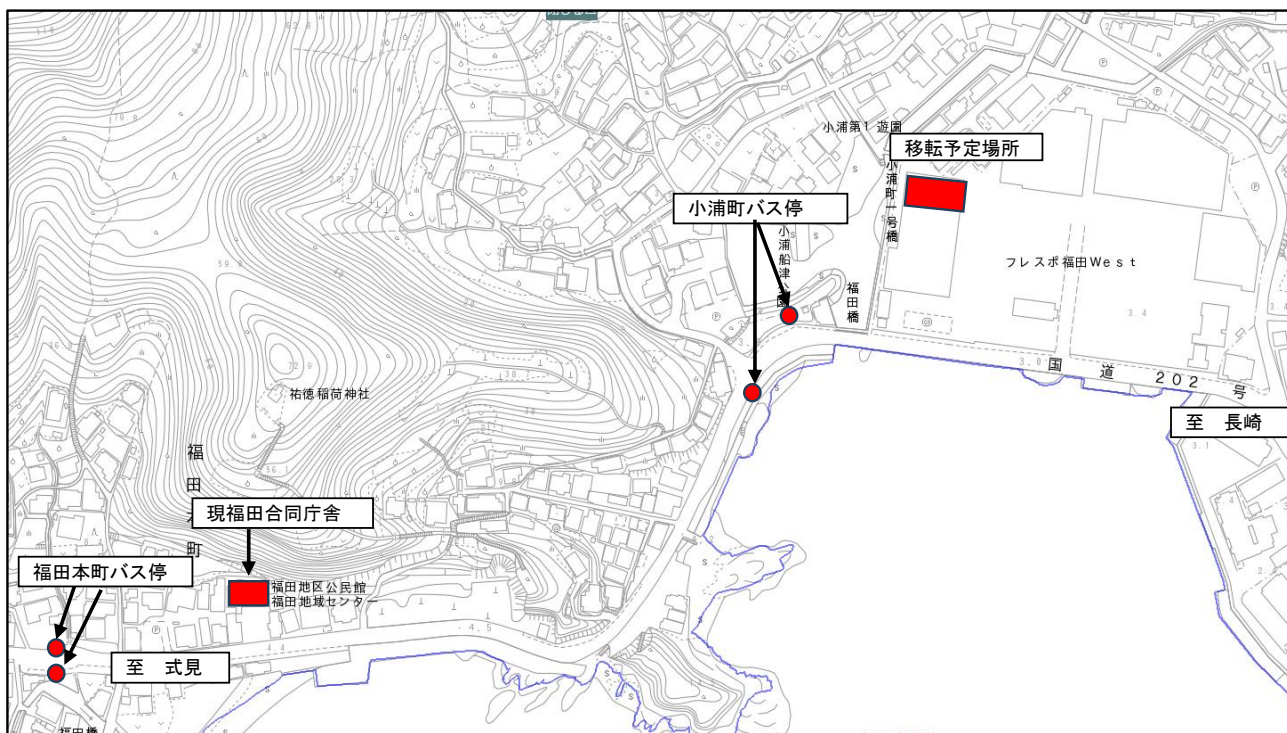
(4) 移転（建替え）の検討内容



(5) 移転先物件の概要

ア	所在地	長崎市小浦町714番地8	フレスポ福田west内賃貸物件
イ	管理会社	大和リース株式会社	
ウ	床面積	598.84㎡	
エ	建物構造	鉄骨造平屋建て	
オ	駐車場台数	339台（他店舗と共用）	

(6) 位置図



(7) 配置図及び写真



(敷地全景)



(正面 (遠景))



(内観)



(8) 今後のスケジュール (案)

令和8年6月	地域説明
令和9年4月	賃貸借契約締結
令和9年5月～令和10年1月	施設改修
令和10年2月	(新) 福田合同庁舎の供用開始

2 野母崎地域センターの移転について

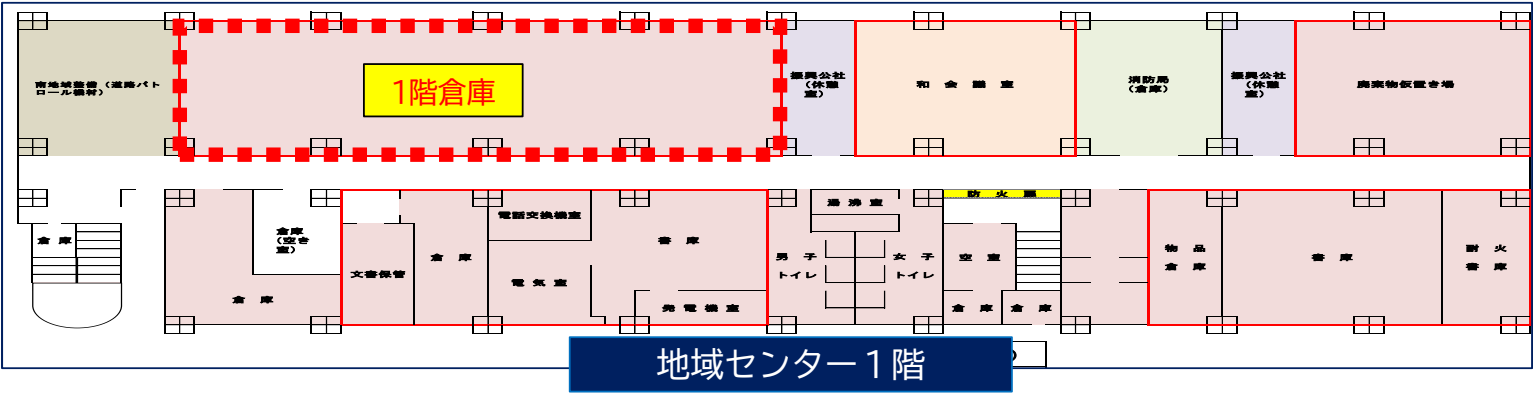
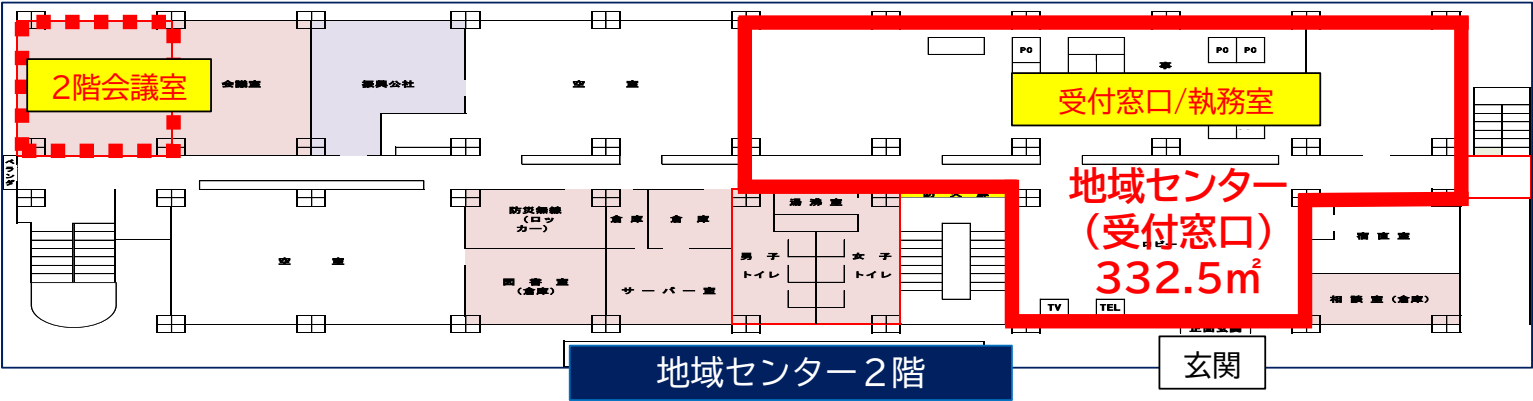
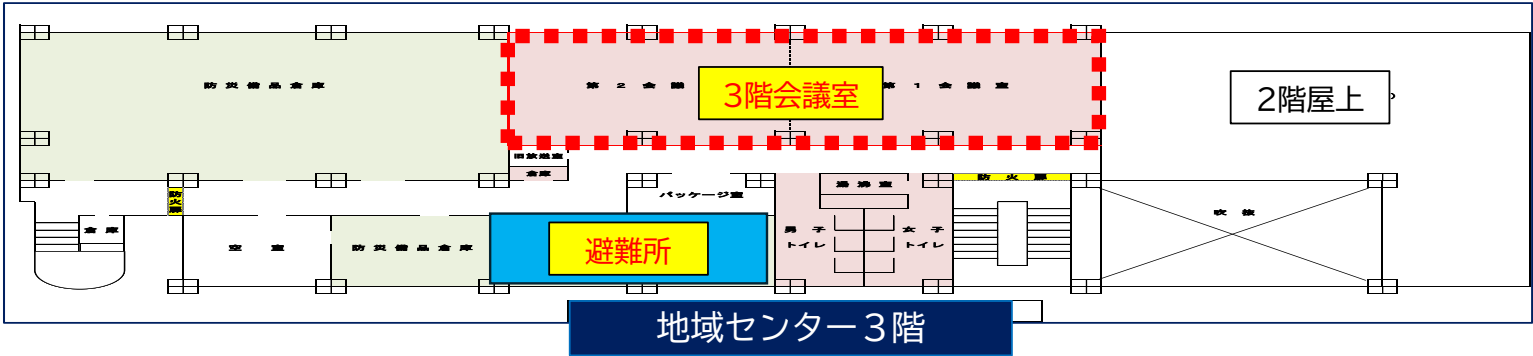
(1) 概要

- 公共施設マネジメント地区計画において、野母崎地域センター（旧野母崎町役場）のあり方を2029年までに検討することとしている。
- 検討の結果、「施設の規模適正化」と「近隣施設との複合化」を図ることが最も合理的と判断したため、野母崎文化センター内への移転を前提とし、移転に向けた地域への説明・調整等を行っている。

(2) 移転理由

- 老朽化 : 現庁舎は塩害等による著しい老朽化が進んでいる。
- 効率性 : 市町村合併後、現庁舎には多くの余剰スペースが生じている。
- 利便性 : 野母崎文化センターは国道沿いに立地し、現庁舎と同様の交通アクセスが維持できる。
- 費用削減 : 現庁舎の大規模改修と比較し、野母崎文化センターへの移転が安価である。
また、維持管理コストが削減でき、将来的な財政負担が軽減できる。
- 施設活用 : 野母崎文化センターが有する交流機能と行政機能が連携することで、施設利活用の選択肢が広がり、既存施設の有効活用につながる。

(3) 野母崎地域センター平面図



(4) 野母崎地域センター現況写真



受付窓口



執務室



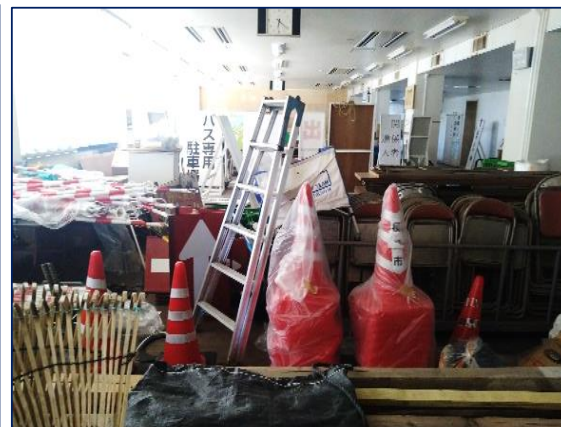
2階会議室



3階会議室



避難所



1階倉庫

(5) 野母崎地域センターの老朽化の状況



外壁剥離



屋上防水シート亀裂



手すり腐食



天井雨漏り



じゅうたん破損



壁面クロス剥がれ



空調冷媒管腐食

(6) 位置図等



(7) 施設概要

名称	(現庁舎) 野母崎地域センター	(移転先) 野母崎文化センター
所在地	野母町1665番地	野母町555番地
建築年	昭和52年(1977年)	平成2年(1990年)
築年数	49年	36年
構造	鉄筋コンクリート3階建て	鉄筋コンクリート2階建て
延床面積	2,536.7㎡	1,682.0㎡
諸室	事務室、会議室、 書庫、倉庫 など	事務室、図書室、会議室、 多目的ホール、視聴覚室 など

(8) 経費比較

区分	野母崎地域センター①	野母崎文化センター②	差引額(②-①)
改修工事費	1億130万円	7,230万円	▲2,900万円
移転経費	-	500万円	500万円
合 計	1億130万円	7,730万円	▲2,400万円
維持管理費 (年間)	650万円	220万円	▲430万円

(9) 移転後レイアウト (案)

野母崎文化センター平面図（1階）



(10) 野母崎文化センター現況写真



ロビー



通路



事務室



旧図書室

(11) 進捗状況

次のとおり、自治会及び現庁舎周辺の住民に対して説明会を実施。

開催日	対象地区	参加者	参加者数
令和8年2月12日（木）	野母崎連合自治会	各地区連合自治会長	4名
// 2月19日（木）	野母地区連合自治会	自治会長	16名
// 3月17日（火）	野母地区住民	自治会長、住民	44名
// 4月1日（水）	野母崎樺島連合自治会	自治会長、地域コミュニティ協議会関係者	25名
// 4月24日（金）	高浜連合自治会	自治会長	22名
// 4月27日（月）	脇岬町連合自治会	自治会長、副会長	19名

【説明会時の主な意見】

- 移転の方向性については、問題ないと思う。
- 移転についてはやむを得ないが、現庁舎の近隣住民にとっては遠くなるので、野母地区公民館への連絡員事務所の設置、または郵便局を活用した証明書発行サービスを実施してほしい。
- 現地域センターは避難所になっているが、移転後はどうなるのか。

今後の進め方

- いただいたご意見を参考に、関係部局と連携のうえ、必要な対策の検討を進める。
- 移転への理解と協力を得られるよう、住民への丁寧な説明に努める。

(12) スケジュール（案）

- 野母崎文化センター改修工事 : 令和9年度
- 引っ越し準備作業 : 改修工事完了後
- 移転開所（予定） : 令和10年1月4日 または 5月8日